

(5)フライングディスク

1 招 集

- (1) 招集は、実施要綱に定める会場において行う。
- (2) 招集開始時間は、その組の競技開始 15 分前とする。
- (3) 選手は、プログラム記載の競技開始予定時刻の 15 分前から招集所に集合し、5 分前までに点呼を受けること（代理は認めない）。
招集完了時刻にいない選手は、棄権したものとみなし出場することはできない。
- (4) 競技場およびサイトへの入退場は、すべて競技役員の誘導により行う。

2 競技者の服装

競技を行う時は、競技用の服装（運動しやすい服装等）とし、靴はスパイクが付いていない運動靴を着用する。

3 競技方法

(1) 競技種目

競技は、アキュラシーのディスリート・ファイブ、ディスリート・セブンとディスクダンスとする。

(2) 競技用具

競技は主催者が用意した公式用具により行う。

(3) アキュラシー

- ・アキュラシーゴールは、直径（内径）91.5cm の円形で、外径の最下部は地面から 61cm とし、足留材（スローイングライン）の中央からの距離は、ディスリート・ファイブは 5 m、ディスリート・セブンは 7 m とする。
- ・投げ方は自由とし、試技は 10 投連続して行う。
- ・得点は、ディスクが地面に直接触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。逆方向から通過した場合は得点とはならない。同得点の場合は、3 回の追加試技によって順位を決定する。

(4) ディスタンス

- ・競技は、以下の 4 つの区分に分けて行う。
 - 座位女子（レディース・シテイング）
 - 座位男子（メンズ・シテイング）
 - 立位女子（レディース・スタンディング）
 - 立位男子（メンズ・スタンディング）
- ・スローイングエリアは、スローイングラインとエンドラインを結ぶ四角形（1.6m × 1.8m）の範囲とし、エリア内で、スローイングしなければならない。

- ・ プレーヤーは試技の前に1投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。
- ・ 投げ方は自由とし、試技は3投連続して行う。
- ・ 投げられたディスクの有効範囲は、スローイングラインの前方180°以内とする。
- ・ 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。
- ・ 座位で競技する場合のシートの高さは、クッションを含めて75cm以下とする。

4 その他

- (1) 介助者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。
- (2) 競技時間、競技順はすべてプログラム記載のとおりとする。ただし、やむを得ない事情がある場合は変更することもあり得る。
- (3) 競技場内へは、競技出場選手、介助者および大会スタッフ以外は立ち入ることができない。